

平成 27 年 6 月 25 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**地方創生・交流自治体連携フォーラムが開催されます**

都市と地方の双方の活性化につながる連携事業の実施に向けて、「地方創生・交流自治体連携フォーラム」が北海道名寄市で開催されます。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部や学識経験者の参加を得て、専門的な見地からの助言も受けながら、各自治体の首長が、課題の解決策などについて具体的な協議を行います。

**■地方創生・交流自治体連携フォーラム（第1回）**

- ◆日程 7月11日（土）
- ◆会場 北海道名寄市 グランドホテル藤花「大雪の間」
- ◆概要 災害時における自治体間の水平的な支援の仕組みである「自治体スクラム支援」に加え、「新たな広域連携」について検討を進めている。この「新たな広域連携」をさらに地方創生に向けた自治体連携の取組に発展させるため、交流自治体間で知恵を出し合い共同検討を行う。  
共同検討を進めるため、交流自治体のトップ同士が集まるフォーラムを開催し、それぞれの自治体が取り組む地方創生のあり方、その地方創生に向けた自治体連携について、今後の方向性を議論する。
- ◆参加者 名寄市長 加藤 剛士  
東吾妻町長 中澤 恒喜  
北塩原村長 小椋 敏一  
青梅市長 竹内 俊夫  
南相馬市長 桜井 勝延  
南伊豆町長 梅本 和熙  
小千谷市長 大塚 昇一  
杉並区長 田中 良（幹事）

※前日 7 月 10 日（金）に同会場で、第 9 回自治体スクラム支援会議が開催されます。

※第 2 回を 11 月 6 日（金）に杉並区で開催予定です。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課企画経営係 担当／大矢・佐藤

TEL : 0258-83-3507 FAX:0258-83-2789 E-mail : plan@city.ojiya.niigata.jp

裏面あり

### ■第9回自治体スクラム支援会議

- ◆日程 7月10日（金）
- ◆会場 北海道名寄市 グランドホテル藤花「大雪の間」
- ◆概要 本格的な経済復興の歩みを進める南相馬市の現状や課題を共有化するとともに、引き続きの支援を確認する。  
また、これまで築き上げてきた顔の見える関係の上に立ち、それぞれの自治体の防災力向上のための具体的対策に関する共同研究など、今後の取組の内容を確認する。
- ◆内容 基調講演、討議など
- ◆参加者 名寄市長 加藤 剛士、東吾妻町長 中澤 恒喜、  
北塩原村長 小椋 敏一、青梅市長 竹内 俊夫  
南相馬市長 桜井 勝延、小千谷市長 大塚 昇一  
杉並区長 田中 良（幹事）  
南伊豆町長 梅本 和熙（オブザーバー参加）  
内閣府地方創生総括官 山崎 史郎（オブザーバー参加）

平成 27 年 6 月 25 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

非核平和推進事業

**原爆記録パネル展を開催します**

小千谷市では、戦後 70 年となる今年、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを伝える原爆記録パネル展を開催します。

また、平和を願う折り鶴を募集し、広島平和記念公園へ捧げていただきます。

**■原爆記録パネル展**

- ◆日程 8 月 1 日（土）～8 月 16 日（日） ※水曜日は休館日です。
- ◆会場 市民学習センター「楽集館」
- ◆概要 非核平和の大切さをより多くの方から理解していただくため、原爆被害や核兵器に関する写真などを展示します。

**■平和を願う折り鶴募集**

- ◆受付期限 7 月 21 日（火）
- ◆受付窓口 企画政策課企画経営係（市役所 3 階）
- ◆概要 広島平和記念公園に捧げる平和を願う折り鶴を募集します。  
お預かりした折り鶴は広島市へお届けし、広島平和記念公園にある「原爆の子の像」に捧げていただきます。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課企画経営係 担当／佐藤・五十嵐

TEL : 0258-83-3507 FAX:0258-83-2789 E-mail : plan@city.ojiya.niigata.jp

平成 27 年 6 月 25 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所  
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**楽集館企画展****小千谷に伝わる浮世絵展 10 を開催します****『見立三十六歌撰』 — 役者絵・見立絵としての「三十六歌仙」**

楽集館企画展として、7 月 18 日（土）～8 月 30 日（日）まで「小千谷に伝わる浮世絵展 10」を開催します。

江戸と交易が盛んだった小千谷には、多数の浮世絵が伝わっており、ひな祭りに絵紙（浮世絵）を部屋中に飾る、全国的にも珍しい小千谷の風習でも知られています。

楽集館ではこれらの名品を毎年展示しています。

**■企画展示**

- ◆日時 7 月 18 日（土）～8 月 30 日（日）午前 9 時～午後 5 時（水曜は休館）
- ◆会場 小千谷市民学習センター「楽集館」（がくしゅうかん）展示室
- ◆展示 『見立三十六歌撰』 — 役者絵・見立絵としての「三十六歌仙」
  - ※作者 歌川豊国（三代）
  - ※主な時期 嘉永五年（1852）
  - ※展示テーマ 36 枚シリーズの役者絵を展示します。

今回の展示では、『見立三十六歌撰』<sup>みだてさんじゅうろっかせん</sup>をご覧ください。その名の通り、王朝和歌の名手である「三十六歌仙（歌撰）」の歌を取り上げ、その歌の一部あるいは全体を、近世の演劇（歌舞伎・浄瑠璃）の名場面や登場人物に見立てたものです。

「柿本人麻呂」<sup>かきのもとひとまる</sup>や「小野小町」<sup>おののこまち</sup>など、『百人一首』等でも馴染みの深い歌人たち三十六人の代表的な作品を選び出し、歌舞伎や浄瑠璃でよく知られた物語に重ね合せて描いたシリーズです。

各図の登場人物は、それぞれに当時の歌舞伎役者の似顔絵で描かれており、いわば人気役者のプロマイド集としての側面もあります。画工の三代目歌川豊国<sup>うたがわとよくに</sup>（歌川国貞）は、本作の刊行された嘉永五年（1852）頃には、浮世絵界の重鎮として、充実の画業を展開していました。役者似顔絵の名手としても知られた彼の筆力は、本シリーズの各図からも充分に窺い知ることができます。

- ◆入場無料
- ◆問い合わせ／生涯学習スポーツ課 83-0077、楽集館 82-8282